



## 平成25年度 1級舗装施工管理技術者試験 〔一般試験〕解答試案

問	解答	ポイント解説	問	解答	ポイント解説
1	3	そのままでも使用が可能である	31	4	別途防水層を設ける
2	2	腹付け盛土箇所等にも採用される	32	3	牽引力はクロー式、機動性はホイール式
3	1	(2)ボルト、棒鋼が標準(3)確認は省略できない(4)JISには定められていない	33	2	アスファルトフィニッシャーを用いる
4	4	たわみ性防護柵、剛性防護柵から選定	34	1	アスファルト混合物の転圧不足
5	2	下り勾配で作業すると効率がよい	35	3	表面処理工法は舗装構造の設計が不要
6	3	埋設物管理者との協議が必要	36	4	路盤以下に原因があり、打換え工法が望ましい
7	1	往と復とで標尺を交換する	37	2	切削工法という
8	4	圧密沈下量、圧密時間の算定	38	3	再利用、再生利用ができるか検討する
9	3	路床面下50cm以上深い箇所から採取	39	4	安定度や剥離抵抗性は低下する
10	1	コンクリート舗装の構造設計による	40	1	提出するが、承諾は必要ない
11	4	破壊しない確立は高くなる	41	3	ネットワーク式工程表の方が適する
12	1	縦目地はﾀｲﾊﾞｰ、横目地はﾀﾞｳﾙﾊﾞｰ	42	1	未払い金ではなく支出金の適確な把握
13	3	鋼床版の基層に用いられる	43	3	請負者は自主的に措置を講じる
14	4	(1)高炉スラグは使用しない(2)扁平なものは使用しない(3)人工砂(砕砂)	44	4	幅1.5m以上の通路を設ける
15	1	積雪寒冷地では80~100を主に使用	45	3	簡易式信号機は交通量の少ない道路
16	2	75μmふるい通過量は少ない物がよい	46	2	設計図書に合格するため、受注者が施工中に実施するものである
17	4	回収ダスト分は30%未満とする	47	1	締固め度を測定する
18	2	(1)安定度(3)粒度範囲の中央値(4)見掛け密度と表乾密度の平均値	48	4	最大乾燥密度の93%以上
19	3	(1)単位水量は少なくなる(2)単位水量は多くなる(4)分離抵抗性は劣る	49	2	項目、頻度、管理限界は受注者が定める
20	2	ポラスアスファルト混合物が用いられる	50	1	個々の測定値が合格判定値の範囲内
21	1	吸水率は大、修正CBRは比較的大きい	51	4	現場透水量試験器による測定
22	4	(1)高温時の耐流動性(2)低温時の摩耗抵抗性(3)旧アスファルトの劣化の程度	52	2	密度試験
23	2	湿地ブルドーザ等で締固める	53	3	100分の60以上の手当て
24	3	最適含水比よりやや湿潤側で締固める	54	4	安全係数は6以上
25	2	製造メーカーの仕様を参照して設定	55	1	(2)聞かなければならない(3)非専任でよい(4)3,000万円以下は主任技術者
26	4	線圧が大きい、或いは転圧温度が高い	56	3	(1)除外項目がある(2)占用許可が必要(4)県知事の許可でよい
27	1	(2)継目転圧が最初(3)遅いと過転圧、速いと不陸(4)低い方から高い方へ	57	1	どちらかの警察署長の道路使用許可
28	2	表面温度が70℃程度になってから行う	58	2	湿式及び密閉式は除外される
29	1	鉄網が有る時も全厚を一層で締固め	59	4	(1)(2)政令で定めるもの(3)30日前までに
30	3	(1)クッカで運搬(2)路盤で行う(4)プライムコートは省略する場合が多い	60	1	健康や生活環境に被害が生じる恐れのあるもの

